

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年11月7日

東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）木村 成克
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役（氏名）小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	16,667	3.1	1,448	1.9	1,570	4.3	1,516	43.7
2025年3月期中間期	16,162	3.8	1,422	160.1	1,505	26.8	1,055	17.0

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,968百万円 (118.5%) 2025年3月期中間期 900百万円 (△44.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	55.21	—
2025年3月期中間期	38.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	30,540	18,203	59.6
2025年3月期	29,405	16,618	56.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 18,203百万円 2025年3月期 16,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,200	△1.0	2,500	△13.2	2,800	△8.3	2,400	12.3	87.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	35,000,000株	2025年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	7,477,429株	2025年3月期	7,553,429株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	27,467,336株	2025年3月期中間期	27,394,915株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇や原材料価格の高止まり、為替変動、海外経済の減速懸念、地政学的リスクなどにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。このような環境の中で、当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員及びその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当中間連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限、1ポンド当たり)が18.89セントで始まり、4月初旬に高値19.63セントを付けました。その後、米国の関税懸念で下落基調となり、さらには投機筋の売りが膨らんだことから6月末に4年ぶりの安値14.68セントを付けました。8月には17.05セントまで値を戻すものの、砂糖主要生産国であるブラジル中南部での生産が順調に推移しているとの観測から、一時15.10セントまで下落しました。その後買い戻しが入り、結局16.10セントで当中間連結会計期間を終了しました。

国内市中価格(日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり)は、期初249円~251円で始まり、同水準のまま当中間連結会計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売では、家庭用製品が低調に推移したものの、業務用製品においてはインバウンドや観光需要が好調に推移し、また記録的な猛暑が追い風となり、飲料ユーザー向け等への販売も好調に推移したことから、販売数量・売上高ともに前中間連結会計期間を上回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は15,834百万円(前中間連結会計期間比3.4%増)、セグメント利益は1,973百万円(前中間連結会計期間比4.0%増)となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、美容家のI K K O氏や落語家の林家つる子氏をメインキャラクターに起用、“オリゴのおかげ=腸活”のイメージ定着を図るため、各種広告宣伝活動に取り組んでまいりました。大容量タイプなどコアユーザー向け製品の需要が着実に高まってきている一方、一部家庭用製品及び業務用製品が低調に推移し、売上高は前中間連結会計期間を下回りました。

サイクロデキストリン部門は、一部ユーザー向けの大口受注が入るなど、売上高は前中間連結会計期間を上回りました。

ビーツ部門は、ECサイトでの販売を中心に展開しましたが、売上高は前中間連結会計期間並みに推移しました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は847百万円(前中間連結会計期間比1.0%増)、原材料コスト等の上昇に伴いセグメント利益は160百万円(前中間連結会計期間比14.2%減)となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は68百万円(前中間連結会計期間比0.8%増)、セグメント利益は38百万円(前中間連結会計期間比1.1%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は16,667百万円(前中間連結会計期間比3.1%増)、営業利益は1,448百万円(前中間連結会計期間比1.9%増)、経常利益は1,570百万円(前中間連結会計期間比4.3%増)、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことによる特別利益605百万円を計上し、親会社株主に帰属する中間純利益は1,516百万円(前中間連結会計期間比43.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて1,074百万円増加し、10,831百万円となりました。これは主に、現金及び預金が634百万円、原材料及び貯蔵品が448百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、19,708百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が31百万円、長期貸付金が119百万円増加した一方で、建設仮勘定24百万円、投資有価証券71百万円が、それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,134百万円増加し、30,540百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて450百万円減少し、12,336百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が205百万円、繰延税金負債が215百万円増加した一方で、有利子負債が844百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,584百万円増加し、18,203百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が468百万円、利益剰余金が1,103百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて634百万円増加し、3,947百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,020百万円(前中間連結会計期間は2,005百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益2,175百万円、減価償却費289百万円、仕入債務の増減額205百万円、利息及び配当金の受取135百万円等による資金の増加があった一方で、投資有価証券売却損益605百万円、棚卸資産の増減額373百万円、法人税等の支払額748百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、869百万円(前中間連結会計期間は372百万円の資金支出)となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入1,310百万円、貸付金の回収による収入415百万円等による資金の増加があった一方で、有形固定資産の取得による支出376百万円、貸付けによる支出480百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、1,253百万円(前中間連結会計期間は1,147百万円の資金支出)となりました。

これは、配当金の支払409百万円、借入金の純減少額844百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月22日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,313	3,947
受取手形及び売掛金	2,061	2,002
商品及び製品	1,382	1,308
仕掛品	291	288
原材料及び貯蔵品	1,587	2,035
その他	1,119	1,247
流動資産合計	9,756	10,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,296	10,362
減価償却累計額	△7,974	△8,032
建物及び構築物(純額)	2,322	2,330
機械装置及び運搬具	12,671	12,511
減価償却累計額	△10,922	△10,731
機械装置及び運搬具(純額)	1,749	1,780
工具、器具及び備品	436	456
減価償却累計額	△378	△388
工具、器具及び備品(純額)	58	68
土地	5,185	5,185
建設仮勘定	93	69
有形固定資産合計	9,408	9,433
無形固定資産		
ソフトウェア	12	10
その他	6	6
無形固定資産合計	18	16
投資その他の資産		
投資有価証券	8,375	8,303
長期貸付金	1,520	1,639
繰延税金資産	275	276
その他	50	39
投資その他の資産合計	10,221	10,258
固定資産合計	19,649	19,708
資産合計	29,405	30,540

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,352	1,557
短期借入金	2,700	2,400
1年内返済予定の長期借入金	1,688	1,748
未払法人税等	768	677
未払消費税等	275	187
賞与引当金	63	66
その他	1,099	1,258
流動負債合計	7,947	7,895
固定負債		
長期借入金	3,860	3,256
退職給付に係る負債	108	98
繰延税金負債	656	871
その他	214	215
固定負債合計	4,839	4,441
負債合計	12,786	12,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	15,656	16,759
自己株式	△2,890	△2,861
株主資本合計	14,756	15,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,750	2,218
繰延ヘッジ損益	2	△0
退職給付に係る調整累計額	109	95
その他の包括利益累計額合計	1,862	2,313
純資産合計	16,618	18,203
負債純資産合計	29,405	30,540

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	16,162	16,667
売上原価	13,106	13,513
売上総利益	3,056	3,154
販売費及び一般管理費	1,634	1,705
営業利益	1,422	1,448
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	86	114
持分法による投資利益	11	27
その他	18	12
営業外収益合計	135	174
営業外費用		
支払利息	43	50
支払手数料	2	1
その他	6	1
営業外費用合計	51	53
経常利益	1,505	1,570
特別利益		
投資有価証券売却益	21	605
特別利益合計	21	605
税金等調整前中間純利益	1,526	2,175
法人税、住民税及び事業税	470	657
法人税等調整額	0	1
法人税等合計	471	658
中間純利益	1,055	1,516
親会社株主に帰属する中間純利益	1,055	1,516

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,055	1,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	466
繰延ヘッジ損益	△14	△3
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△10
その他の包括利益合計	△154	451
中間包括利益	900	1,968
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	900	1,968

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,526	2,175
減価償却費	284	289
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	△105	△135
支払利息	43	50
為替差損益(△は益)	1	1
持分法による投資損益(△は益)	△11	△27
投資有価証券売却損益(△は益)	△21	△605
売上債権の増減額(△は増加)	658	58
棚卸資産の増減額(△は増加)	459	△373
仕入債務の増減額(△は減少)	△387	205
その他	△171	48
小計	2,279	1,681
利息及び配当金の受取額	105	135
利息の支払額	△43	△50
法人税等の支払額	△336	△748
法人税等の還付額	—	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,005	1,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△414	△376
無形固定資産の取得による支出	—	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	82	1,310
貸付けによる支出	△1	△480
貸付金の回収による収入	463	415
関係会社株式の取得による支出	△500	—
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372	869
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400	△300
長期借入れによる収入	700	300
長期借入金の返済による支出	△1,200	△844
配当金の支払額	△247	△409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,147	△1,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	484	634
現金及び現金同等物の期首残高	2,305	3,313
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,789	3,947

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,303	799	—	16,103	—	16,103
その他の収益	—	—	59	59	—	59
外部顧客への売上高	15,303	799	59	16,162	—	16,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	39	8	62	△62	—
計	15,318	838	67	16,225	△62	16,162
セグメント利益	1,897	186	39	2,123	△701	1,422

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,799	807	—	16,607	—	16,607
その他の収益	—	—	60	60	—	60
外部顧客への売上高	15,799	807	60	16,667	—	16,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	39	8	82	△82	—
計	15,834	847	68	16,750	△82	16,667
セグメント利益	1,973	160	38	2,172	△723	1,448

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ